



理工学庁イセンターニュース

No.107 2008.1

1月の開館時間

先月の入館者数
25,489 人

2008年1月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	◇ 15	* 16	* 17	* 18	* 19
* 20	* 21	* 22	* 23	* 24	* 25	* 26
* 27	* 28	* 29	* 30	* 31		

【カレンダーの見方】



通常開館

月～金：8:45～21:30 / 土：8:45～20:00



臨時開館 10:00～18:00



閉館

1月15日は冬季長期貸出返却期限日です。更新（返却期限の延長）はできません。期限を過ぎると1冊につき1日10円の延滞金がかかりますのでご注意ください。

* 創想館地階閲覧室の24時間開室実施詳細はp.2をご覧ください。

* 来月以降の開館予定は次のウェブページをご覧ください。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/calendar/calendar2007.html>

* 塾内各地区メディアセンターの1月の開館日程は次のウェブページをご覧ください。

<http://www.lib.keio.ac.jp/schedule/200801.pdf>

目次

お知らせ 2～3

日曜臨時開館

創想館地階閲覧室の24時間開室

春季長期貸出

学位論文データベースへのご協力をお願い

日本機械学会講演会割引チケット

電子図書館サービス 3～4

Web of Knowledge 新バージョンへ移行

2008年電子ジャーナル/データベース契約スタート

雑誌の動き 4

コラム 4

新着図書紹介 『フロンティア軌道論で化学を考える』

発行：慶應義塾大学理工学メディアセンター

E-mail: riko-mcinfo2@adst.keio.ac.jp

Home Page: <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>

電子版のご利用はこちらから <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/mcnews.html>

お知らせ

日曜臨時開館

秋学期末試験前および試験期に臨時開館を行います。開館時間とサービス内容が通常と異なりますのでご注意ください。

臨時開館日： 1月20日(日), 1月27日(日)

開館時間： 10:00~18:00

18:00以降の創想館地階閲覧室の利用は次の記事をご覧ください。

サービス内容： 施設の利用および貸出・返却・複写は通常通りです。

文献複写取寄せの受付はいたしますが、処理は翌日以降になります。

レファレンスサービスは休止します。

創想館地階閲覧室の24時間開室

創想館地階閲覧室を以下のとおり翌朝7時30分まで開室します。マナーを遵守の上ご利用ください。

期 間： 1月15日(火)~2月4日(月) *2月3日(日)は除く

開室時間： 閉館時刻(平日21:30, 土曜20:00, 日曜・祝日18:00)~翌朝7:30

申請受付時間： 平日・土曜 8:45~閉館5分前 / 日曜 10:30~閉館5分前

備考 (1) 利用は、理工学部在籍者に限られます。

(2) 利用申請および夜間残留届の記入・提出が必要です。(手続先：貸出・返却カウンター)

(3) 申請した本人が、当日のみ利用できます。

(4) 開室中は警備員が巡回します。

(5) 申請時に受け取ったICカードは、退出の際に出口の返却ボックスに返してください。

利用上の注意：時間帯が深夜になりますので、騒音など他の利用者や近隣の方々への迷惑にならないように、塾生の皆さんの節度ある行動をお願いいたします。

春季長期貸出

春季長期貸出を以下のとおり実施します。

- 貸出冊数： 通常どおり(学部生7冊、大学院生10冊、教職員30冊)
- 受付期間： 通常2週間貸出のもの： 1月23日(水)~4月1日(火)
通常1ヵ月貸出のもの： 1月23日(水)~3月15日(土)
- 最終返却期限： 来年度在籍者 ----- 4月15日(火)
学部卒業予定者 ----- 3月14日(金)
大学院修了予定者 ----- 3月18日(火)
研究生(3月末終了予定者) ---- 3月31日(月)

* オーバーナイト扱いのものは除きます。

* 更新はできません。

* 他地区からの借用図書は所蔵地区の貸出規則に従います。

なお、学部4年、修士2年、博士3年、研究生で来年度も在籍する方は貸出・返却カウンターにお申し出ください。返却期限を4月15日(火)に変更いたします。

学位論文データベースへのご協力をお願い

理工学メディアセンターでは、学位論文をより有効に利用させていただくため、学位論文（要旨・全文）のデータベース化を進めています。今年度も、各研究室の先生方、学位論文を提出される方には、論文の電子ファイルおよび『学位論文使用許諾書』をご提出いただきたく、ご協力をお願いいたします。必要書類等の入手については、次のとおりです。

【修士】

- ・電子ファイル提出用 CD-ROM：1 月中に各指導教員宛にお送りします。
- ・『許諾書』および『提出について（お願い）』：学事課 Web ページ掲載の書類をプリントアウトしてください。 <http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/rikouken/index.html#syuuusironbun>

【博士】

- ・CD-ROM：必要書類は学位申請手続き時に学事課にて配布します。書類は以下のページからも入手できます。 <http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/rikouken/index.html#hakasegakui>

なお当センターの以下のページに、提出に関する FAQ、学位論文データベースの詳細を掲載していますので、あわせてご参照下さい。 <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/etd/index.html>

日本機械学会講演会割引チケット

日本機械学会の各部門、各支部が主催する 2008 年の講習会、講演会等に利用できる割引券があります。この割引券で会員外の方でも会員と同等の料金でこれらの行事に参加出来ます。ただし、他学会との共催行事には使用することができませんのでご注意ください。

必要な方は、当センター本館に入ってすぐ右手のテーブルからご自由にお取りください。

電子図書館サービス

* 電子図書館サービスについてのご質問等は、当センターレファレンス担当までお問い合わせください。
(連絡先→E-mail: riko-mcref@adst.keio.ac.jp, 内線 40307)

Web of Knowledge 新バージョンへ移行

Web of Science, INSPEC を提供しているインターフェイス「Web of Knowledge」が 1月28日より新バージョンに完全移行します。

移行前に新バージョンをご利用になる場合は、現バージョン画面上部の“Access the new version!”からお進みください。

主な改良点

複数検索項目による Cross Search (Web of Science, INSPEC の横断検索) が容易

Cross Search の検索結果の中では、Web of Science のデータを優先して表示

検索結果の絞込みオプションを同じ画面上の左列に表示

引用リンク (cited by) のうち、最新論文 3 編を画面上に具体的に表示 など

詳しくは ISI 社の HP で紹介されています。 <http://www.thomsonscientific.jp/knowledgelink/newface/>

2008年電子ジャーナル/データベース契約スタート

新しい年が始まり、ほとんどの海外の電子ジャーナルやデータベースも新しい契約がスタートしました。例えば nature physics, nature nanotechnology, nature photonics などが利用可能となっています。稀に、契約更改時に設定ミスが生じ、フルテキストが読めるべき論文にアクセスできない等の事態が生じることがあります。“おかしいな？”と思われた場合は、ご遠慮なくお知らせください。

雑誌の動き

【新規】

・RIMS Kokyuroku Bessatsu (京都大学数理解析研究所講究録.別冊) Vol. B1 (Mar. 2007)-

【誌名変更】

・神戸大学大学院海事科学研究科紀要 (前誌:神戸大学海事科学部紀要) 4号(平19.7)-

・Physica status solidi. A, Applications and materials science
(前誌: Physica status solidi. A, Applied research) Vol.202, no. 1 (Jan. 2005)-

・Physica status solidi. B, Basic solid state physics
(前誌: Physica status solidi. B, Basic research) Vol.242, no. 1 (Jan. 2005)-

【廃刊・休刊】

・神戸大学大学院自然科学研究科紀要. B -25号(2007.3)

・Memoirs of the Graduate School of Science and Technology, Kobe University. A
= 神戸大学大学院自然科学研究科紀要. A -No. 25 (Mar. 2007)

コラム

新着図書紹介 『フロンティア軌道論で化学を考える』

友田修司著 講談社サイエンティフィック 2007年

フロンティア軌道論は、1952年に福井謙一教授によって、“化学現象の本質と全体像を見渡すための基礎概念”として発表されたものです。もともと、化学反応の速度と経路を理解するために提出されたフロンティア軌道論ですが、後に、分子の熱力学的安定性、化学結合の強さ、分子構造等もこのフロンティア軌道が支配していることが解明されました。フロンティア軌道論は、全ての化学現象を解明する普遍性のある概念として進化しています。

化学という学問は、原子と原子を線で結びいわゆる原子価をベースにしたボンドの概念として展開されてきましたが、現代化学の発展によって、ボンドの概念だけでは説明不可能な問題が山積みになっていました。そこへ分子軌道の概念を基礎にしたフロンティア軌道論が登場し、あらゆる化学現象を読み解くことを可能にしました。

本書は、“ボンドの化学”という概念によって説明されてきた化学を脱皮し、フロンティア軌道論に基づいて化学現象全般を理解するために書かれた新しい化学の入門書です。進化したフロンティア軌道論の全容が紹介されています。

(請求記号: 431.1@T7@1 配架場所: 本館 2F 一般図書)